

令和5年度授業改善プラン

- (取り組み内容)
- ・毎学期の終わり、自分の担当(各学年ごとに項目だてて)の授業に関して作成する。

・本年度の自己の研修課題に関連し、自己の授業を分析し課題を見いだす。

・見いだされた課題に対し改善プランを立て、指導方法の工夫・改善を図る。

・学期の終わりに検証を行い、来学期につなげていく。

教科名(美術科) 教科主任名 宮越 一昭

★教科・観点について
学力向上のための調査・期末テストび学期の学習状況、生徒の授業アンケートをもとに分析し記入する。＜○成果 ▲課題＞

観点	前半～9月			後半～1月		次年度に向けて まとめ
	学年	課題分析	具体的な改善策	学年	課題分析(授業改善・プランの1次評価)	1次評価後の具体的な改善策
知識・技能	1年	○丁寧に取り組む様子が見られ、基本に充実に制作しているので、継続させたい。 ▲初めての考査で戸惑う生徒が多かった。効果的な学習の方法を伝えていきたい。	・安全に制作が行えるよう掲示物等を整え、また、ICT機器を活用して制作に没頭できる環境を作る。 ・考査に対してどのように取り組めば良いか、題材ごとに丁寧に説明し知識の定着を図る。	1年		
	2年	○作品制作の手順は理解できており、得た知識を技能として発揮できている。 ▲教員、出題形式が変わり、考査への取り組みや学習方法に戸惑う生徒が多かった。	・安全に制作が行えるよう掲示物等を整え、また、ICT機器を活用して制作に没頭できる環境を作る。 ・考査に対してどのように取り組めば良いか、題材ごとに丁寧に説明し知識の定着を図る。	2年		
	3年	○成績に対する意識が高い生徒が多く、得た知識を技能として発揮できている生徒が多かった。 ▲教員、出題形式が変わり、考査への取り組みや学習方法に戸惑う生徒が多かった。	・安全に制作が行えるよう掲示物等を整え、また、ICT機器を活用して制作に没頭できる環境を作る。 ・考査に対してどのように取り組めば良いか、題材ごとに丁寧に説明し知識の定着を図る。	3年		
思考・判断・表現	1年	○指示されたことをきちんと行う生徒が多い。 ▲それ以上の工夫をしようという意識が低く、一つ一つにおいて教員側の指示を仰ごうとする様子が見られる。	・ただ制作するだけでなく、よりよい作品作りを目指すことの大切さを理解させ、工夫の仕方や高いレベルの参考作品を提示し意識の変革を促す。	1年		
	2年	○指示されたことをきちんと行う生徒が多い。 ▲それ以上の工夫をしようという意識が低く、他のアイデアを写そうとする生徒があり、創意工夫する意欲が低い生徒がいる。	・物事を多面的にとらえようと深く思考する生徒を模範として、同様に取り組める生徒を増やすよう指導にあたる。さらなる向上心の育成を目指していく。	2年		
	3年	○高いレベルの表現に挑戦しようと描画材料の使いなどを工夫する意欲的な生徒が多かった。 ▲制作時間への意識が弱く、時間内に完成できなかった生徒がいた。	・授業の目標やテーマをしっかり設定させるとともに、参考作品を豊富に用意し、さらなる向上を目指す。また、制作時間と計画的に制作することへの意識付けを強化する。	3年		
主体的に学習に取り組む態度	1年	○指示されたことを一生懸命取り組む素直な生徒が多い。 ▲さらに進んで取り組もうとする生徒はわずかで、言われたことをやって満足している生徒が多い。	・制作の見通しをもたせ、自ら進んで準備、制作する姿勢を育むとともに、ふりかえりの大切さを指導し、さらに関心や意欲を高める。	1年		
	2年	○全体の流れがつかめた生徒は、見通しをもって取り組めていた。逆算して制作目安を決めている生徒もいた。 ▲意欲的な生徒とそうでない生徒の差が激しく、忘れ物や授業中の居眠りが目立つ生徒が決まっている。	・計画性や見通しをもつことの大切さを意識させる。 ・ICT機器を効果的に使用し、制作の流れを確かめさせ興味・関心を高める。	2年		
	3年	○指示されたことを一生懸命取り組む素直な生徒が多い。 進んで工夫しようとする生徒も多かった。 ▲苦手意識が強く、粘り強さに欠け、時間を有効に使えていない生徒が若干いた。	・時間の大切さを意識させ、取り組む意義や何を学ぶかを的確に助言し、目的意識をもたせ、粘り強く取り組ませる。	3年		